

しんとみ

ニュース

坂東啓男さんが 町村監査功労者表彰

新富町の監査委員を長年にわたり務め、地方自治の振興発展に貢献された功績が認められ、坂東啓男さんが令和3年度全国町村監査委員協議会より、功労者表彰を受けました。

監査委員とは、自治体の財務や事業の監査、住民からの請求による監査などを行っている人のことです。



干し大根の新部会設立 魅力発信を首都圏へ

干し大根生産者23名（うち新富町5名、会長・中山真一さん）による新部会「宮崎でげうめえ会」が設立しました。あわせて、キムラ漬物宮崎工業（株）が首都圏を中心に展開する生協と産直提携を締結。農業と商業の連携により、地元産品である干し大根の県外へのPRと販路開拓による消費拡大が期待されます。



スポーツ振興に貢献 2名が文部科学大臣表彰

地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ関係者に送られる、令和3年度生涯スポーツ功労者（文部科学大臣表彰）に、新富町から阿部和義さんと大神憲子さんが選ばれ、表彰を受けました。

阿部さんはボート競技において、本県初の女子クルーを結成し、現在までジュニア育成、県協会の副会長などを務めています。大神さんは長年、太極拳教室を開講し、町内の普及活動や健康増進に寄与してきました。



市町村対抗駅伝で3位 入賞おめでとう！

1月10日に行われた第12回宮崎県市町村対抗駅伝競走大会の町村の部で、新富町選手団が歴代最高タイとなる3位入賞を果たしました。

今回の記録について、監督兼選手の石黒良一さんは「前半で上位に食い込み、そのまま順位をキープできた。富田中3年の瀧飛天さん（3区区間賞）や白瀧優吉さん（6区2位）をはじめ、全員の調子が良く順調にタスキをつなげたことが結果につながった」と振り返りました。



※市町村対抗駅伝の写真はすべて宮崎日日新聞社提供